

令和 6 年 8 月 7 日

会 員 各 位

生物化学分析部門

部門長 五十嵐 麻衣

## 生物化学分析部門研修会のお知らせ

拝啓

時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は技師会活動にご理解ならびにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。生物化学分析部門では下記のとおり研修会を開催いたします。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

日 時 : 令和 6 年 9 月 7 日 (土) 14:00~16:30

会 場 : 福井県立病院 5 階 中会議室

### ① 演 題 : サイバーセキュリティは気にするが、医療 DX は?

臨床検査室に求められること

講 師 : 加藤 龍二 (株式会社エイアンドティー 学術部)

【要旨】医療 DX (デジタルトランスフォーメーション) は急速に進んでいる。日本では電子カルテの情報を共有化し、その後に標準型電子カルテを普及させる動きがある。また、医療 DX の活動としては「全国医療情報プラットフォーム」の実現、「診療報酬改定 DX」、「電子処方箋」などタスクは多い。臨床検査に目をやると、電子カルテ標準化に必要な 3 文書 6 情報のうち「感染症情報」「検査情報」はまさに臨床検査情報であり、JLAC コードを用いて標準化しなければならない。今回は医療 DX と呼ばれる動きの中から、臨床検査室に関連した情報をピックアップしてみたので紹介したい。

### ② 演 題 : あなたの検査室は大丈夫ですか? 身近に潜むサイバーリスクと

求められているセキュリティ対策「わかりやすく」お伝えします

講 師 : 渡辺 豊 (日本電子株式会社 ME ソリューション営業本部)

【要旨】2021 年以降、国内の医療機関に対し、ランサムウェア等を用いたサイバー攻撃の事例が連続して発生しており、院内システムが停止し、長期間の診療停止に陥ったケースも後を絶ちません。医療機関においてサイバーセキュリティ対策を怠ると、地域医療の安全性が損なわれるだけでなく、経営責任や法的責任が問われる可能性もあります。

今回は、実際のサイバー攻撃の事例を紹介し、厚生労働省の『医療情報システムの安全管理に関するガイドライン』を遵守する事がいかに重要かを解説いたします。

日本臨床検査技師会の規定により、①日臨技+福臨技 0 円 ②非会員 3000 円となりました。

【問合せ先】 市立敦賀病院 検査室 東 正浩 TEL 0770-22-3611 (内線 4240)

【生涯教育】 基礎-20 点